

令和2年度 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座(基礎編) カリキュラム <講義内容>

		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
①平日 (予備日9/16)		8月19日(水)	8月26日(水)	9月2日(水)	9月9日(水)
②日曜 (予備日12/6)		11月8日(日)	11月15日(日)	11月22日(日)	11月29日(日)
1 限	9:10	防災リーダーに期待される活動 地域の防災リーダーとしての心構え、期待される役割などについて学ぶ	地震・津波による災害 地震の特徴について理解を深め、地震災害がもたらす被害とその対策について学ぶ	行政の災害救助・応急対応 行政の平時の防災対策(法律・計画)と災害時の対応について学ぶ	災害時のメンタルケア 被災者がかかえる健康問題と被災者支援を行なう際の留意点について学ぶ
	10:10	【講師】 平日:岩井慶次(岐阜大学非常勤講師) 日曜:調整中	【講師】 久世益充(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)	【講師】 上野友也(岐阜大学教育学部准教授)	【講師】 深尾琢(岐阜大学医学部精神病学臨床講師)
2 限	10:20	気象災害・風水害 気候変動と社会変動を踏まえて災害を考える	ライフライン・交通インフラの確保 災害に対するライフライン事業の対応と利用者としての備えについて学ぶ	復旧・復興と被災者支援 被災者支援(災害ケースマネジメントなど)について学ぶ	災害ボランティア活動 防災ボランティアについて理解を深め、自主防災組織と連携した取組について学ぶ
	11:20	【講師】 原田守啓(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)	【講師】 能島暢呂(岐阜大学工学部教授)	【講師】 津久井進(芦屋西宮市民法律事務所)	【講師】 栗田暢之(特定非営利活動法人レスキューストック代表理事)
3 限	11:30	災害関連情報と予報・警報 岐阜県の気象の特徴、風水害及び土砂災害をもたらす気象現象などについて学ぶ	企業・団体の事業継続 企業・団体の事業継続計画(BCP)の重要性と、その作り方、考え方について学ぶ	災害時要支援者対策 避難行動や避難所生活において福祉的支援が必要な要配慮者について理解を深め、支援の方法を学ぶ	平常時の防災活動 地域の防災活動の課題と平常時からできること、平常時だからこそやるべき事について学ぶ
	12:30	【講師】 気象庁岐阜地方気象台	【講師】 安藤一男(BCマネジメントサポートセンター代表)	【講師】 小林和成(岐阜大学看護学科准教授)	【講師】 高木朗義(岐阜大学工学部教授)
4 5 6 限	13:30	被害想定・ハザードマップと避難情報 【ワークショップ】 ハザードマップから地域に潜む危険を認識し、被害軽減に役立つ方法を考える	地域で使える防災啓発メニュー 【ワークショップ】 家具固定などの具体的な方法について学ぶ	地域防災と多様性への配慮 【ワークショップ】 避難所運営の実態を理解し、配慮すべき事項について学ぶ	本講座を地域防災に活かすために 【ワークショップ】 本講座で修得した知識を地域の防災に活かす方法を各グループで考え、実践できるようにする
	16:50	【講師】 ・村岡治道(岐阜大学地域減災研究センター特任准教授) ・他調整中	【講師】 ・調整中	【講師】 ・小山真紀(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授) ・他調整中	【講師】 ・井坂泰成(岐阜大学非常勤講師) ・小山真紀 ・村岡治道

毎回この時間割にあわせてオンライン会議ツール(zoom)によりインターネット上で講義を行います。午前の講義の一部については、収録済みの講義の動画を受講者が都合の良い時間にインターネットで視聴する形式で実施する予定です。その場合、この時間割の当該講義に当てられた時限については講義は行いません(詳細については後日受講者にお知らせします)。

各回の午後の講義(4~6限)は、ワークショップを交えて行います。ワークショップはオンライン会議ツール(zoom)のグループ分け機能(ブレイクアウトルーム)を利用して受講者を5人程度のグループに分け、各グループの進行役のもとで受講者同士で意見交換を行います。